

サラ・ミシェル・アゾレス・ヴィオレン (サラ)

ジャイレ・チルドレンホーム(JCHI)

フィリピン・サンバレス州カスティレホス マグサイサイ

民族 / 部族: フィリピノ
母語: タガログ語
宗教: キリスト教
職業: 寮監



仕事について :

「児童養護施設を出た子どもたちがひとり立ちできる方法を教えたいと思っています。ひび割れたガラスではなく欠けのないガラスのようになるために。」

サラ・ミシェル・アゾレス・ヴィオレンはフィリピンのカトバロガン市で生まれ育ちました。彼女の家族は、尊敬と平等をもって他者と接することを彼女に教え、それが彼女の人生における信条を形作りました。サマル大学で小学校教育を専攻し、2014年に卒業、2019年にジレ・チルドレンホーム(JCHI)で働き始め、平和なキリスト教環境のもと、持続可能な農業について知りました。

JCHIでのサラの仕事には、過去に虐待やネグレクトを経験した11人の少女の寮監としての役割も含まれます。サラはすべての子どもが祝福されていると信じており、子どもたち一人ひとりの世話をするのが好きです。彼女は子どもたちの日常ですべきことや、学校の準備、農作業の手伝いをします。

帰国後、サラはJCHIと協力し、より持続可能な土地開発に取り組む予定です。また、児童養護施設の子どもたちとその家族のために、経済力を高めるための生計訓練やプログラムを実施するつもりです。サラは、自分の技術をコミュニティとより広い地域で分かち合い、住民が健康で自立したコミュニティを作れるよう指導していきたいと願っています。

送り出し団体について :

ジレ・チルドレンホーム (JCHI) は、フィリピン信仰伝道団が1976年にオロンガボ市の貧しい子どもたちへの奉仕活動を始めた際に設立されました。JCHIの使命は、危機的状況にある子どもたちにキリスト教の家庭的な居場所を提供し、彼らの身体的、感情的、精神的なニーズに応えることにあります。サラは帰国後、JCHIの持続可能な総合農場モデルの開発を指揮し、子どもたちと青少年を対象に、有益な農業とコミュニティ参画の技術を教える予定です。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら :

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)